

2009年度

科目名	教育心理学		
担当教員	井上 徹		
配当	日文2・英語2	コード	31140
開期	後期	講時	水曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	教育に関わる心理学を学ぶ		
目的と概要	教育心理学全般にわたる基本的事項についての理解と知識習得を目指します。教育心理学は、教育活動や教育事象を心理学的に研究し、適切な教育効果をあげるのに役立つ心理学的知見と技術を提供する学問です。本講義では、教育心理学の4つの主要な研究領域である、発達、学習、適応、評価の4つの面から、児童・生徒と教育に関わる様々な心理学の考え方を紹介します。		
成績評価法	学期末筆記試験70% + レポート30% + 受講態度についても加味して評価します。		
テキスト	北尾倫彦他著 精選コンパクト教育心理学－教師になる人のために－ 北大路書房 2006		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	私語をするものは授業を妨害するものとみなし、退室させます。		
講義計画			
<p>I. 子どもの発達の理解</p> <p>1. 教育心理学とは何か 授業へのオリエンテーション、目的、対象、方法、関連する資格</p> <p>2. 発達とは何か 遺伝と環境、成熟説と学習説</p> <p>3. 発達段階(1) 乳幼児期:シエマ、象徴的思考</p> <p>4. 発達段階(2) 児童期:保存の概念、操作</p> <p>5. 発達段階(3) 青年期:思春期発育、自我同一性</p> <p>6. パーソナリティの理解 自己概念、社会的スキル</p> <p>II 学習のプロセスと指導</p> <p>7. 学習とは何か 条件付け、モデリング、プログラム学習</p> <p>8. 学習への動機付け 内発的動機付け、自己効力感</p> <p>9. 学習の方略 発見学習、有意味受容学習</p> <p>10. 学習指導と個性 認知スタイル、適正処遇交互作用</p> <p>III 生徒の理解と指導・評価</p> <p>11. 学級集団の心理 集団の構造、小集団活動、リーダーシップ</p> <p>12. フラストレーションと葛藤 適応のメカニズム、欲求不満耐性</p> <p>13. 問題行動の理解と対応 不登校、学習困難、非行</p> <p>14. 心身障害児の心理と教育 知的障害、視覚・聴覚障害、肢体不自由</p> <p>15. 教育評価 診断的評価、形成的評価 新しい評価方法</p>			